答え 11月15日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



七五三にちなんで「七五三クイズ」

【第1問】千歳飴（ちとせあめ）の袋に描かれている、縁起のよい生きものは？

① 虎と竜　② 鶴と亀　③ 鯛とえび

「鶴は千年、亀は万年」といわれる長生きのしるしです。松竹梅も描かれていることが多く、子どもの長生きと幸せを願う気持ちがこめられています。

【第2問】3歳の「髪置き（かみおき）」は、どんなお祝いだった？

① 髪を切る　② 髪を結う　③ 髪をのばし始める

江戸時代、小さな子どもは髪をそっておくのがふつうでした。3歳になると髪をのばし始めるので、そのお祝いが「髪置き」です。

【第3問】7歳の女の子の「帯解き（おびとき）」。この日から着物をどう着る？

① 帯をしめない　② ひもで結ぶ　③ 本式の帯をしめる

それまでは着物についたひもで結んでいましたが、7歳からは大人と同じように帯をしめます。子どもから少しお姉さんになる節目でした。

【第4問】昔の言葉「七つまでは〇〇のうち」。〇〇に入るのは？

① 神　② 親　③ 夢

昔は子どもが無事に育つことがむずかしく、7歳までは神様からの預かりもの、と考えられていたといわれます。だからこそ、節目ごとにお祝いしたのですね。

【第5問】七五三で、ふつう5歳でお祝いするのは？

① 男の子　② 女の子　③ 男女とも

5歳は、男の子が初めてはかまをはく「袴着（はかまぎ）」のお祝いです。一般に、男の子は3歳と5歳、女の子は3歳と7歳ですが、地域によってちがいます。

【第6問】3歳の女の子が着物の上に着る、そでのないベストのようなものは？

① 羽織　② 被布（ひふ）　③ はんてん

被布は、帯をしめない小さな子の着物の上に着る、そでなしの上着です。かわいらしい房かざりがついていて、3歳の七五三でよく見かけます。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます